

短時間で活用していただけるよう作成しています。学校の状況に応じて参考例としてご活用ください。
推奨学年を示していますが、学校・クラス・地域の実態に合わせて柔軟に活用してください。

学習例 新型コロナウイルス感染症に伴う人権について考え方 「SNSでのうわさ」

推奨学年 小学生（高学年） 中学生

ねらい

- ・差別の言動についての問題点を理解する。
- ・差別的言動の問題点を指摘する方法やいじめや差別をなくす（引き起こさない）行動について考える。
- ・SNSの使い方について考える。

留意点

- ・当事者や濃厚接触者、その家族となっている児童生徒への配慮を行う。

進め方

（○ 教師の働きかけ ・ 予想される児童生徒の反応）

流れ	展開と内容
導入	<p>○みんなが知っているSNSについて情報共有する (ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム 等があること)</p>
展開	<p>○【資料1】を読み、気になる部分に下線を引きましょう。気になった理由を考えましょう</p> <p>・ネットの情報は正しいとは限らないから、拡散するのはやめた方がいいと思う ・正しくてもこういう情報は流してはダメだと思う ・感染者を探しているみたい ・この町内会の関係者がこれを見たら傷つくと思う ・不確かな情報の拡散はみんなを傷つけるし犯罪につながってしまうこともあると思う ・無視するのはいじめだと思う ・Cさんを感染者にしてしまっている</p> <p>○このようないじめや差別をなくす（引き起こさない）ために、わたしたちはどのような行動ができるでしょうか 意見を出し合いましょう</p> <p>・不確かな情報は拡散しない ・正しい情報であったとしても、それをSNSで拡散することはしてはいけない ・誰にでも感染するリスクがあるから、感染した人やその家族の気持ちを考えて行動する ・思いやりの気持ちを忘れない ・自分たちがいじめをしない ・いじめを見つけたら被害にっている子に声をかける、先生に伝える</p>
まとめ	<p>○SNSの使い方について確認する</p> <p>・ネットの情報は間違っている可能性があること ・事実であっても、個人情報を掲載、拡散する等の行為は人権侵害にあたること ・不確かな情報やうわさ等を発信拡散することが人々を不安にさせ、偏見や差別、いじめの原因になること 等</p> <p>○教師の説話</p> <p>感染した方、濃厚接触者、その家族が傷つくような間違った情報や悪口がインターネットを通じて広がり、その方たちが傷つくような例が静岡県でも見られます。新型コロナウイルスについてはだれもが不安です。だれもが感染する可能性があるのです。闘う相手は、人でなくウイルスです</p> <p>○どんなことに気付き、どう考えましたか 一人一人が振り返る</p>

短時間で活用していただけるよう作成しています。学校の状況に応じて参考例としてご活用ください。
推奨学年を示していますが、学校・クラス・地域の実態に合わせて柔軟に活用してください。

【資料 1】

Aさん ○○中学校区の△△町内会の人が、コロナウイルスに感染したらしいよ。

Bさん そうなの？だれに聞いたの？

Aさん ネットに投稿されていたよ。

Bさん 本当なのかな。

Aさん ネットの情報だから本当だと思う。

だれが感染しているのかわからないから、クラスのみんなに知らせた方がいいね。

Bさん そうかな・・・

Aさん 気を付けるようにみんなに知らせよう。

Bさん そうだね。気をつけた方がいいからね。

Aさん もしかしたら、△△町内会の人は他にも感染している人がいるかも。

Bさん Cさんは、△△町内会だよ。大丈夫かな。

Aさん じゃあ、Cさんとは、話をしない方がいいね。

ワークシート「SNSでのうわさ」

- 1 【資料1】を読み、気になる部分に下線を引きましょう。気になった理由を考えましょう。

- 2 このようないじめや差別をなくす（引き起こさない）ために、わたしたちはどのような行動ができるでしょうか。意見を出し合いましょう

- 3 どんなことに気付き、どう考えましたか。